

2017年3月27日(月)金 起燮(キム キソプ)氏を招いてのシンポジウム

『原州の協同組合運動と、韓国の社会的経済生態系』

—歴史・現状・課題を中心に—

共催 パルシステム生活協同組合連合会
NPO法人 共同連
ソウル宣言の会

協賛 明治大学日欧社会的企業比較研究センター

3月25日(土)、26日(日)と名古屋で行われる、NPO法人共同連関係団体が主催するシンポジウムに参加するため、韓国から金起燮氏が来日されます。そこで折角の来日機会なので、東京でも金起燮氏を招き、3団体共催でシンポジウムを開催することになりました。

金起燮氏は、略歴にも記載致しましたが、韓国の協同組合の聖地である原州(ウォンジュ)で生まれ、育ち、協同組合的環境の中、社会に対する考えを育てられました。

原州(ウォンジュ)は、韓国中東部の山脈に囲まれた、人口30万人くらいの小さな町ですが、最近、ここに全国各地、そして日本を含め世界から、毎年一万人以上の人々が訪れています。かつて軍事独裁の時代には「民主化運動の聖地」と呼ばれ、今は「協同組合の都市」として再び注目を浴びています。

このことは世界的な動きとして、協同組合や社会的企業が取り組む「社会的連帯経済」が注目され、広がりを見せていることと無縁ではありません。特にその推進の一翼を担う韓国ソウル市での運動、情報発信が、実績を上げつつあることも背景にあります。

行き過ぎた新自由主義経済による負の側面、格差社会、環境破壊、資源の枯渇等から、資本主義の終焉や、脱経済成長、非営利的価値観が、今までとかわる社会変革としての新たな社会システム(参加・民主主義、公正・公平、連帯)の選択が話題となっています。私達にとって、原州や韓国の運動を知り、学ぶことは、これからの日本の協同組合や社会的企業等の非営利団体活動に示唆を与えることでしょう。

お忙しいかと思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

開催日時：2017年3月27日(月)17:30~20:00

開催場所：パルシステム連合会東新宿事務所2階会議室(別紙、地図参照)

17:30~開会挨拶

17:35~金 起燮氏 講演

「原州協同組合運動と、韓国社会的経済生態系」

19:00~金 起燮氏氏の講演を受けて 一非営利組織、そして「社会的連帯経済」

*パルシステム連合会、NPO法人共同連、ソウル宣言の会

19:20~質疑

20:00~閉会挨拶

参加費無料

【金 起燮(キム キソプ)氏 略歴】

協同組合研究活動家。1963年韓国原州生まれ。
ソウルの延世大学卒業後、日本の神戸大学に修学博士号取得。
韓国の生協全国連合会を経て、トゥレ生協連合会を設立。
長くその専務理事に就任
約5年前からより自由な立場で協同組合や社会的経済関連の執筆と
支援活動に従事。グリーンコープ共同体顧問。自称「溢れ者」。

